玖波中だより

No.20

大竹市立玖波中学校　令和６年３月６日

学校教育目標「自他を大切にし，主体的に考え行動できる生徒の育成」

発行責任者　小田　大介　　文責　藤川　健二

５１０２から５１２１まで

とうとう「第 76 回卒業証書授与式」を明日，迎えることになりました。

さて，「5102～5121」は何の数か分りますか？第 76 回を迎えた卒業証書授与式に授与される卒業証書の番号です。今年度の最初の卒業生が 5102 番目，最後の卒業生が 5121 番目となります。大規模校に比べると決して大きな数字とはいえませんが，それぞれが，自分のクラスの「20 分の１」ではなく「5121 分の１」の重みを感じながら，卒業証書授与式に臨んでもらいたいと思っています。

公立高校の一次選抜が終わり，卒業式の学年練習，全体練習，予行練習，教室の掃除，文集づくりと，３年生は卒業モードになっています。その姿を見ると，君たちの玖波中学校での充実ぶりがよくわかります。

卒業証書授与式当日は様々な思い出が蘇り，感極まることでしょう。それでも，「はい」という大きな返事，体育館中に響き渡る「大きな歌声」，凛とした姿勢で，「堂々と悠々」とした気持ちで式に臨んでもらうことを願っています。なぜなら，59 名全校生徒が揃って行う最後の学校行事であり，授業であるからです。今まで，文化祭や体育祭等で玖波中学校のリーダーとして，人の心を動かすことができました。人の心を動かすことを「感動」といいます。是非「感動」のある卒業証書授与式にしましょう。そのことが君たちの家族に，感謝の気持ちを伝える一つの方法でもあるのです。

襷（たすき）を受け取る

在校生は，先輩方がこれまで築いてきた伝統を受け継ぐ気持ちで，卒業証書授与式に臨むことを願っています。自分の節目を大切にすることは勿論大切なことではありますが，人の節目を大切にするということは，より価値の高いものなのです。この日は卒業生の門出をお祝いする日でもありますが，卒業生から襷を受け取る日でもあるのです。

３年生の保護者の皆様へ

３年生の保護者の皆様は２月９日付のご案内文を再度ご確認のうえ，ご出席くださいますようお願い申し上げます。

３年生にとって，大切な卒業証書授与式が，希望に満ちた清々しいものとなるよう心を込めて準備しております。また当日は，保護者の皆様と同様に，卒業生の門出を心からお祝いしようと思っております。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが，３年間本校教育活動にご理解ご協力いただき，心より感謝申し上げます。明日，お子様は玖波中学校を巣立ちますが，今後ともお力添えをいただければ幸いです。３年間，誠にありがとうございました。

保護者の皆様・お子様の今後のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

下瀬美術
SIMO
ART M

玖波中学校ドリームプロジェクト 『特別授業 ようこそ 池崎 愛里 先輩』
夢・目標への挑戦